



八
高
校
勿
來

同窓会報

卒業生の皆さんへ

同窓会会长 金 成 武 夫

卒業生の皆さん、本校所定の課程を立派に修了され、晴れて卒業を迎えるましたことを心からお祝い申し上げます。

東日本大震災からまもなく五年が経過し、一つの節目を迎えます。集中復興期間から

復興、創世期間へと移行し住宅再建、復興まちづくりが本格化してきます。そんな中にあって、皆さん達の若い力が必要とされているのです。今こそ、伝統ある勿来高校の卒業生として誇りをもつて頑張ってください。数多くの同

窓生も日々頑張っております。

谷公会堂で行われた第五十五回交通安全全国民運動中央大会で、交通安全教育活動、事故防止に顕著な功績があつた学校に贈られる交通安全優良学校賞を受賞しました。六月に全校生徒が参加して、県内初めての勿来高校地域安全協力隊を発足し、いわき南警察署署長より委嘱状を交付され、

ながら自分自身を見失う事なく、自分の居場所を確保し、新しい伝統に向かっていく大事です。

さて、去年一月には、日比谷公会堂で行われた第五十五回交通安全全国民運動中央大会で、交通安全教育活動、事故

防止に顕著な功績があつた学

校に贈られる交通安全優良学

校賞を受賞しました。六月に

事

と

思

う

い

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

生徒会では、ボランティア活動を積極的に行っていますが、今年度は勿来高校地域安全協力隊のメンバーとして、新しく作つていただいた黄色いすきをかけて、生徒会役員だけでなく多くの生徒が防犯キャンペーンや交通事故防止を呼びかける活動、いわきシーサイドウォークでの運営補助など地域のさまざまな活動に参加しました。また、八月末には、いわき市青少年育成大会において意見発表の場をいたいたので、日々のボランティア活動の中で感じたことを「地域の方々とのつながりを大切に」という題で平子絢菜さんが発表し、多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。

もう一つ、今年度から始まつたこととして、いわき養護学校くばた校との交流があります。同じ校舎で学ぶ仲間として少しでもお互いを理解し、一緒に活動できることを見つけたいと考え、福島工コキヤップ運動の活動を合同で実施しています。エコキヤップの収集、分類、洗浄、計量などの作業を一緒に行い、今のところ百キロを目標に頑張っているところです。また、生徒会とは別に家庭クラブでも、くばた校の生徒が作業學習で織り上げた「さをり織り」の反物を預かり、それをお願いされたデザインの製品



福島工コキヤップ運動



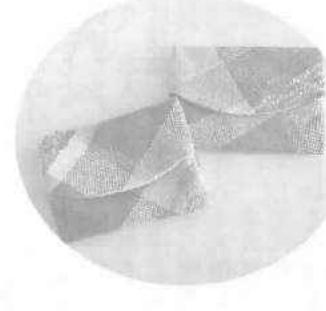
いわきシーサイドウォーク



関の子ボランティア



関の子広場もちつき大会



私たち弓道部は、遠藤先生、坂口先生、平野先生、外部顧問の藤井先生のご指導のもと日々活動しています。今年度は、二年生五名と一年生四名の計九名で活動しています。

活動内容は、主に巻藁や鏡などを使い自分の弓道の姿を見直したり、藤井先生に見てもらいうなどの形を重視した練習、射位に立ち実際に的に向かって矢を打つ練習や試合や審査に向けての射法八節を中心とした弓道の動作の練習を行っています。また、後輩と一緒に稽古を行っています。また、後輩と一緒に稽古を行っています。

年二回行われている市内の高校の茶道部が集まる合同発表会では、夏の発表会に立

の関内久仁子先生のご指導のもと、二年生三人、一年生四人の計七名で活動をしていました。週二回の活動のうち、一回は関内先生をお招きし、お点前の仕方やお茶のいただき方などを丁寧に教えていただき、もう一回でその教えていただいたことを元に自分たちで指摘し合いながらお稽古をしています。

年に二回行われている市内の高校の茶道部が集まる合同発表会では、夏の発表会に立

るの前に前をさせていただきま

した。また、校内でのお茶会も年に二回行っており、今年

からは、校内の先生方だけではなく、くばた校の先生方や生徒さんもお呼びしています。



先輩の仲も良く、雰囲気の良い楽しい部活です。今年度は、インターハイと新人戦県大会出場、審査全員合格、勿来地区女子一位、二位、三位に入賞することができます。ですがこの結果に満足することなく、これからも部活動での目標や個人個人の目標に向け取り組み、また多くの方々にお世話をになると満足することなく、これからも部活動での目標や個人個人の目標に向け取り組み、また思うので、感謝の気持ちを忘れずに部活動を行っていきます。

多くの方々にお世話をになると満足することなく、これからも部活動での目標や個人個人の目標に向け取り組み、また思うので、感謝の気持ちを忘れずに部活動を行っていきます。

講師として昭和五十九年に本校を卒業した大井川康博氏をお招きしました。大井川氏は株式会社ユニックス北関東工場で製造部長をなされております。本校生に対し、「勿来高校卒業生として後輩に望むこと」との演題で、熱くお話し下さいました。

「何かをやるために必ず誰かの手助けがある。」「感謝の心をもつてやれば何かができる」「人間に限界はない。限界は自分自身で決めただけ。必ず出来る。」

同窓生の講話

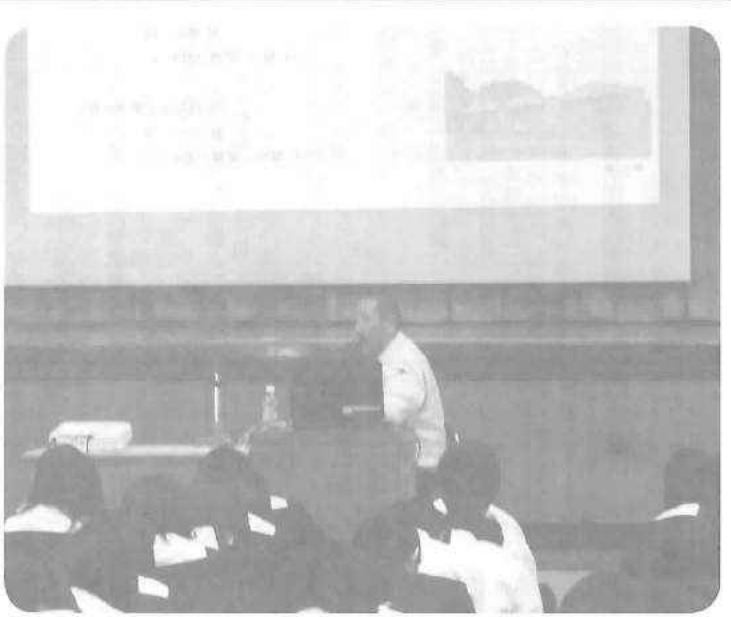
進路講演会について

十月九日（金）に本校第二体育館で全生徒及び教職員対象に進路講演会が行われました。

「一日一日を大切にして、夢・希望・目標を持つて自分自身を形成し、頑張って生活して下さい。」など、多くの力強い激励の言葉を頂きました。

生徒たちも先輩の言葉に熱心に耳を傾けておりました。先輩たちの熱いメッセージが胸に響いているようでした。

この生徒たちが先輩方のようにな力強く社会で活躍してくれる



ります。

勿来高校の生徒会活動・家庭クラブ活動。

さをり織りのティッシュケース

弓道部

先輩の仲も良く、雰囲気の良い楽しい部活です。

今年度は、インターハイと新人戦県大会出場、審査全員合格、勿来地区女子一位、二位、三位に入賞することができます。ですがこの結果に満足することなく、これからも部活動での目標や個人個人の目標に向け取り組み、また

思うので、感謝の気持ちを忘れずに部活動を行っていきます。

多くの方々にお世話をになると満足することなく、これからも部活動での目標や個人個人の目標に向け取り組み、また

思うので、感謝の気持ちを忘れずに部活動を行っていきます。

進路狀況

(平成 28 年 2 月 16 日現在)

| 卒業予定者 | 就職 | | 進学 | | | |
|-------|-----|-----|-------|------|------|------|
| | 県内 | 県外 | 4年制大学 | 短期大学 | 専門学校 | 各種学校 |
| 男子 | 14人 | 6人 | 1人 | 0人 | 0人 | 4人 |
| 女子 | 44人 | 26人 | 3人 | 1人 | 2人 | 6人 |
| | | | | | | 1人 |

◎内定企業名
(隠内)

(県内) 鶴見钢管㈱、佐藤紳いわき支店、いわき中部農業協同組合、
加藤段ボール㈱いわき工場、㈱STアンジェリーク、(有)カネキチ食
品、ケンタ電子工業㈱、㈲サイチ商店、タチハナ洗業㈱、いわきエコ
バルブ㈱、社会福祉法人ハートフルなこそ、㈱ユニックス北関東工場
(有)竹森保温工業、社会福祉法人養生会かしま荘、㈱みよし、
㈱木禪、ホテル浜とく、㈱ビーシースクエア、(有)イワキ駅店、
Hair Relaxation anvi、
オリックス・ゴルフ・マネジメント合同会社小名浜カントリー俱楽部
ホテルパームスブリング㈱エムアンドイーインター・ナショナル、
社会福祉法人愛誠会介護老人保健施設佳勝園、
㈱モリビューティコーポレーション

(県外)
株マイスタイル、株FTG Company
社会福祉法人愛正会やすらぎの丘温泉病院、赤坂詠月
◎今後掲載名

◎合格学校名
仙台大学、福島県農業総合センター農業大学校、いわき短期大学、松林看護専門学校、尚美ミュージックカレッジ専門学校、読売理工医療福祉専門学校、水戸メディカルカレッジ、Wiz専門学校、国際アート＆デザイン専門学校、大原簿記情報公務員専門学校水戸校、中川学園調理技術専門学校、水戸経理専門学校、いわきコンピューターラボ

私が進路について真剣に考え始めたのは三年生になつてからでした。私は考えた結果就職しました。七月一日になり、求人票が公開されると私は就職したい企業を探し始めました。ですが、どう簡単には決まらず夏休みを利用して毎日学校に通い、求人票を確認しました。そして八月の始めの頃に就職試験を受ける会社を決めました。そこから会社の情報を集めながらより良い志望動機を作るため



進路への道のり

三年一組
綠川大斗

二学期になり、最初に履修書を書きました。また、面接練習がありました。面接練習では、二人の先生が面接官の役をやってくださいり、私にたくさんアドバイスをくださいました。私は質問には答えることができましたが、表情が固くなつたままだったり、目線が泳いでしまつたりしてしまいました。

の同じ時期を上回る結果で内定率が九〇%を超えておりました。さらに、一度の失敗で諦めることなく、再挑戦した生徒もあり、良い結果につながったのではないかと思います。内定後は、社会人としての心構えや常識ある行動について指導を行っております。

また、未内定生徒へは、職業安定所に登録し、一般求人への応募や、就職支援員の方と協力しながら求人開拓に努め、進路の実現に向けて支援

震災以降、県内卒業生の多くが県外の企業に就職しました。このことが県内の人手不足につながり、今年度も昨年度に引き続き県内、県外とも多くの求人をいただきました。就職の内定状況は昨年度

日頃より同窓生の皆様には、ご支援いただきまして誠

卷之三

三



三年二組
池 延
穂奈美

も、いろいろな先生方に見てもらいました。受験をするにあたつて一番大変だったことは、小論文でした。毎年、小論文の出される内容が変わり、八〇〇字以内を五〇分で書かなくてはいけません。そのため、医療に関する幅広い知識を持ち、自分が医療従事者としてできることは何か

多くの先生方や友人・家族の支えがあつたからこそ合格することができたと思っています。

二年生では、平成二十二年度から地元事業所のお世話を実施している「インターンシップ」へ四〇名が参加いたしました。受け入れ事業所から取り組み状況について褒めの言葉を頂いている場合がほとんどですが、厳しいご指摘も頂いています。

進学希望者については、ほとんどの生徒が進路希望を達成しております。進路決定後も基礎学力の向上に努め、進学先での学習を十分理解し、専門的な知識を身に付けることができるよう取り組んでい

私は幼い頃から看護師になることが夢でした。中学校の時から看護や医療にかかるイベントにはすべて参加してきました。高校に入学してからも、看護師の体験ができることは一年生からずっと積極的に参加をしてきました。私は将来、地域に貢献できる看護師になることをを目指しています。そのため地域に貢献できる看護師の育成と少人数制で、きめ細やかな授業が受けられることに魅力を感じたので、松村看護専門学校を選びました。二年生の冬休みから受験に向けて勉強をしました。冬休みや夏休みは学校へ来て数学や生物の過去問を

考え、それを文字として表すことが大変でした。ですが、過去の小論文をたくさん書いていたり、医療についての知識を調べたりと先生方にアドバイスをいただきながら、少しずつ小論文が書けるようになりました。

試験当日は、一日で筆記試験と面接を行いました。筆記試験は今まで勉強をしていたことを發揮できました。面接では、とても緊張してしまいましたが、自分の伝えたいことがうまく言葉にできませんでしたが、笑顔でやり通すことができました。不安で仕方ありませんでした。不満で仕方ありませんでしたが、無事に合格することができました。

運動部活動報告

| 個人の部 | 平子 紹菜 | 昭和30年御協力者御芳名 | | | | | | | | | | | | 昭和33年御協力者御芳名 | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|--------------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|
| | | 昭和30年 | 昭和31年 | 昭和32年 | 昭和33年 | 昭和34年 | 昭和35年 | 昭和36年 | 昭和37年 | 昭和38年 | 昭和39年 | 昭和40年 | 昭和41年 | 昭和42年 | 昭和43年 | 昭和44年 | 昭和45年 | 昭和46年 | 昭和47年 | 昭和48年 | 昭和49年 | 昭和50年 | 昭和51年 | | |
| 平成27年度同窓会長賞受賞者 | 磐前 小宅 濑金佐大狩吉 安長鷺児 菊地 安島 高木 高橋 | 谷成竹田野田 島久玉 静保 | 美原 一恵裕 敏光 一一 勝正 重利 克鶴 君江 | 原敏子 子保文徳 保博儀郎 | 君江 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人の部 | 小林 峰年子 年村年 藤年桐年 和年田 藤年木年野年 口井田 成田 卷村年 郡方川津年 藤年部年野年木年 遠年 木年田 遠年 井年國年 田本年元年 延子 崇月哲月 貴月つ月 仁月廣月清角月 倉月 月孝正節武惠久 月清重光 月勝月 月浩月洋 月克忠月修月 正月啓好月 月俊克卒子 洋卒也卒則卒え卒子卒子卒和子卒巳卒賢卒一雄子夫子夫一卒一子由隆卒男卒明卒司卒子卒武宏卒昭卒義卒二弘卒克卒 | 高橋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会員 | 小15田 5田63佐57片50大48岡佐47鈴46永44山大栗金蛭八木42北生佐赤41佐40園39萩38鈴37藤上36川35三34齋松33秋30年 | さ協※上だも多きま報に平かげます。セ力27年まで多く成るが力金い年頃でございました。た。今度より心に御賛が、同窓会申い年同の皆様へ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員 | 333み33田3333川実3八33333野33野333月俊克卒 | た。今度より心に御賛が、同窓会申い年同の皆様へ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年度 | 3月 | さ協※上だも多きま報に平かげます。セ力27年まで多く成るが力金い年頃でございました。た。今度より心に御賛が、同窓会申い年同の皆様へ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 度 | 延子 | 28年1月末に頂きました。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 度 | 度 | 度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |